

# グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 47号  
2019.9月

発行:NPO法人  
みどりの市民  
〒380-8553 長野市若  
里 4-17-1 信州大学  
工学部 UFO ながの  
高木研究室内  
発行人:高木直樹

## “ エシカルふえす～「想像してみよう!その商品のおこうがわ」～” 開催

フェアトレードタウンを目指し～パタゴニアの環境助成金を受けて～



長野県で初めての「エシカルふえす」が7月27日28日の両日、ビッグハットで開催された「体験と学びの環境博」会場内で行われました。実施したのはみどりの市民を事務局とするエシカルふえす実行委員会です。

長野でもエシカル（倫理的）消費の考え方を広めようと有志が集まりエシカルふえす実行委員会を立ち上げたのは2月末。

実行委員会にはエシカルなお店事業者や高校生・大学生、エシカルワークに参加した方など多彩な人が集まり、「ネーミングは?どのような形で実施するの?」など手さぐり状態の運営で、企画が固まったのは4月末。資金はパタゴニア環境助成金を獲得することができ、「長野市をフェアトレードタウンにするためのエシカルふえすの開催」と高いミッションを掲げました。



「ふえす」では「エシカルマルシェ」と実行委員会が運営の「七夕飾り～エシカルの願い～」 「ブックレスキュー」 「エシカルカフェ」 「情報コーナー」 「ステージ発表」 など盛りたくさんの内容を展開。

**マルシェは13店舗が出展:**エシカルの4つの基準(\*)のいずれかに該当するかが**出店条件**。有機栽培や無農薬栽培の素材によるお弁当やハンバーガーのお店、フェアトレードの衣類・雑貨のお店、生活クラブ、日大高校など長野市内や飯綱町、遠くは東京や山梨のこだわりのお店や団体が揃いました。



### マルシェ出展の4つの基準

- ◎ 持続可能な暮らしを提案するもの (オーガニック、地産地消など)
- ◎ 社会・人権に配慮した視点を提案するもの (フェアトレード商品 など)
- ◎ 地域のモノづくり及び地方の伝統文化を継承していくもの
- ◎ 動物福祉、紛争のない鉱物資源に関する活動団体及び物の支援

**ここで大活躍したのは地域まるごとキャンパスの高校生 6 人:**ステージ発表では自ら企画作成したパワーポイントで「エシカルとは?」と広報し、積極的に活動していた姿が印象的に残りました。若い人たちが関心を持ってこの活動に参加してくれたことが何よりの収穫でした。10年後にはこの長野市がフェアトレードタウンに認定されるよう今後も地道にこの活動を続けていきます。

## 「脱プラスチックにチャレンジ」と「生ごみの堆肥化といのちの循環」



みどりの市民は7月27日28日にビッグハットで開催された「体験と学びの環境博 2019」に出展。今年の「みどりの市民」のテーマは、プラスチックの海洋汚染に対する提案として、27日は「脱プラスチックにチャレンジ」、28日は「生ごみの堆肥化といのちの循環」でした。

**1日目「脱プラへのチャレンジ」** 脱プラの日用品を集めての展示や来場者からの脱プラへのメッセージ、又冷たい梅ジュースをリユース食器で提供してごみの削減を実践し、脱プラをアピールしました。

### 《脱プラの日用品の紹介》

紙製のスプーンやストロー、昔懐かしい「経木」、蜜蝋から作る何回も使用できる「エコラップ」 リユース食器など

**2日目「生ごみの堆肥化といのちの循環」** まず、野菜に関心を持っていただこうと「野菜の花当てクイズ」。知っているようで知らない野菜のお花。胡瓜と南瓜、さてこの花はなんのお花？ 子どもたちは真剣に回答。スタッフは、「生ごみは土に戻しましょう！こんなに立派な野菜ができます」と「いのちの循環」を伝えました。

## 順調にスタート「どんぐり・るるネット」

～生ごみ・竹・美味しい野菜をつなぐネットワーク～

2年前のアドバイザーの例会から生まれた会員制の段ボール堆肥の回収システム“るるネット”、今年ようやく「ながのまちづくり活動支援金」を受けて本格的な事業として立ち上がりました。参加目標30世帯を目指して事業がスタートして5ヶ月余り。8月末で33世帯が参加して回収・配達システムのスムーズに回り始めています。

会員は生ごみを段ボール堆肥で堆肥化して土に還すことが義務付けられています。回収の役割を担っているのは西山淡竹会。2ヶ月に一度竹チップを配達、生ごみの一次生成物は回収。回収されたものはモーリー農場の畑に運び込まれ、循環の輪が回っています。

【年会費：個人回収／1500円、拠点回収／1000円。詳しくは事務局へ】



### 回収同行記

配達に同行したところ、初めて何うお宅はナビを頼りに近所までは行くのですが、中々一回では到着できず一軒一軒表札を確認し、それでもわからず、たまたま地区の民生委員さんのお宅で地図を広げて教えてもらったり、道を一本手前で曲がったりと、苦勞の連続!!それでも皆さんから、『生ごみを可燃ごみとして出すことに、ずっともったいなく思っていたので、良いシステムを考えてもらい良かったッ』という喜びの声を聞くと苦勞も吹き飛びます。

生ごみを何とかしたい!! と思っている人がたくさんいることがわかり、循環の輪がこれからもっともっと広がるよう願っています。 (会員・生ごみ減量アドバイザー 丸山幸恵)

## この夏も「エコアクティブ塾」開講 ～信州環境カレッジの登録講座として実施しました～

### その1. 川の生き物見つけ隊 8月2日(金) コムラサキの森にて(安茂里JR鉄橋下流犀川河川敷)



参加者43人 講師は会員の清水久美子さん

川の水量は昨年よりも多く、17組と大勢の参加者を迎えたので、事故のないようにスタッフ一同神経を使い、参加者に自然の豊さを感じてもらえるように取り組みました。又、河川敷に残されたプラスチックごみについても説明し、自分たちの問題として伝えました。

#### 【参加者からのメッセージ】

川の中で遊ぶ事がないので、とてもいい経験になりました。お恥ずかしい限りですが、川＝魚という勝手な私のイメージで、見たことのない生き物を見つけて、大人でも新しい発見でした。自然と触れ合うことはやはり大事ですね。どじょうを見つけてことができ下の子も楽しんでいました。先生から今問題になっているプラスチックのゴミについて話があり、実際川に行ってみて落ちているのを見ると、深刻な問題として意識する大切さを合わせて学ぶ事もできました。親子共々、夏の貴重な体験になりました。ありがとうございました。

### その2. 体験！街も地球もどうして暑い？

8月6日(火) 長野県環境保全協会会議室及び新田町交差点付近

参加者 12人 講師：会員の西沢和雄さん、長野市温暖化防止活動推進員の堀池政史さん

参加者は、赤外線放射温度計でまず氷・水・お湯の温度を測り、ものの温度を実感。そして、街の中の道路や街路樹、車などいろいろな場所や物の温度を測定しました。映像ソフト「触れる地球」で何故地球が暑くなるのか講師からのお話を聞き、まとめとして調べた温度をワークシートに記入。最後は冷たいスイカで暑くなりすぎた体を美味しく冷やしました。

#### 【参加者振り返りシートより】

- ・台風の動きやクジラや鳥のうごきが分かった。
- ・地球の温度を測ってこんなに高いと思いませんでした。
- ・たくさん木を育ててきれいな町にしたい。
- ・日に当たっていたのに植物の温度は低いということを知った。



### その3. 太陽の熱で美味しいカレーを作ろう



8月8日(木) 信州大学工学部構内にて 参加者 45人 講師は山口吉久理事

ギラギラの夏空の下、自然エネルギー・温暖化について学び、太陽の熱を使ったソーラーッカーの仕組みを学習。熱中症が心配なほどの暑さの中、夏野菜のカレー作りで太陽熱を体感しました。お昼は工学部の学食をお借りしてカレーを美味しくいただきました。

#### 【参加者振り返りシートより】

- ・風、水がさいりようできてべんりだと思いました。
- ・家にソーラーパネルがほしくなりました。
- ・太陽の光でいろんなことができるんだなと思った。
- ・ソーラーパネルがたいようのひかりをきゆうしゅうできるのがすごいとおもいました。
- ・家のカレーより日光で作ったカレーの方がすごくおいしかったです。





今年は川田の地に“ 引っ越して ” 二年目です。運営の目的や主旨は変わりありません。前半は「日照不足」その後は「酷暑」でした。おもな作業は「みどり農園計画」を基本として行ってきました。

現在の大豆の生育状況は“ ほぼほぼ ” 順調かと思えます。大根とカボチャも少しですが順調です。今年は薩摩芋が害虫の餌にならなければと祈っています。残された活動への皆様のご参加お待ちしております。〈山口吉久理事〉

★これまでの実績（活動日は主に土曜日）

- ① 4/13 ジャガイモとモロコシの種まき
- ② 5/18 草取り
- ③ 6/8 大豆の種まきと薩摩芋の苗植え及び草取り
- ④ 6/29 大豆の土寄せと草取り モロコシ収穫 1 回目
- ⑤ 7/13 モロコシの収穫 2 回目と臨時の草取り
- ⑥ 8/3 ジャガイモ堀と草取り（サマチャレ 2 名受入れ）  
合間には草がひどいためビーパーで草刈りもしました

★今後の予定は

- ㊦ 10/12(土) : 大豆刈り取り・薩摩芋掘り
- ㊧ 11/ 2(土) : 大豆脱穀・焼き芋大会



酷暑の中サマチャレの 2 人も汗だくでジャガイモ掘りのお手伝い。その後はソーラークッカーの薄焼きおやつで一息 (8/3)

2019 年度総会開催される



2019 年度みどりの市民の総会が 5 月 11 日長野市ふれあい福祉センターで開催。会員総数 48 名のうち出席者数 36 名（当日出席者 15 名、委任状 21 名）により、2019 年度の事業計画及び予算案が承認されました。今年度は信州大学工学部に移転して 2 年目となり、移転により管理費が削減され、以前より少しゆとりが生じました。そうした中、生ごみの「どんぐりるるネット」「エシカルふえす」など新しい事業が動き出しています。



お知らせコーナー



エコサロン№4 [草木染とばーばのおやつ]

マリーゴールドで絹のストールを染めます  
日時：10月10日（木）10時～12時  
場所：ふれあい福祉センター  
参加費：1500円  
持ち物：エプロン、ゴム手袋  
定員：10名 締め切り：10月3日

エシカル学習会

日時 11月24日（日）10時～16時  
場所 長野市ふれあい福祉センター  
1部 10時～12時30分（定員20名）  
ワーク&お昼 参加費 900円  
2部 13時半～15時半（定員30名）  
講演会 参加費 200円  
講師 原田さとみ氏  
（日本エシカル推進協議会理事）

☎ 380-8553 長野市若里4-17-1信州大学工学部  
UFO ながの高木研究室内  
NPO法人みどりの市民事務局  
TEL&FAX 026-269-5092  
E-mail midorit18@shinshu-u.ac.jp  
URL http://midorinoc.sub.jp/



《キャンパスの一隅にて》  
夕焼け小焼けで日が暮れて・・・を口ずさみながらふるさと高社山を眺めています。変わりゆく長野の街並み感じながら、一日の終わりに感謝する毎日です。ニュースレター遅くなりました。みどりの市民動いています。（W.H）